

除染技術の開発		施策番号088
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	48	農林水産省
章	第3	
節	2	
項	(6)	作成年月
目	⑤(v)	平成24年9月
平成23・24年度の予算措置の状況		
【平成23年度】		
①科学技術戦略推進費「重要政策課題への機動的対応の推進及び総合科学技術会議における政策立案のための調査」委託事業のうち、農地土壌等における放射性物質除去技術の開発 494百万円【一般会計】		
②新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（緊急対応研究課題） 5,151百万円の内数【一般会計】		
【平成23年度第3次補正】		
③森林・農地周辺施設等の放射性物質の除去・低減技術の開発 266百万円【一般会計】		
④新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（緊急対応研究課題） 160百万円の内数【一般会計】		
【平成24年度】		
⑤農地・森林等の放射性物質の除去・低減技術の開発 191百万円【復興特会】		
⑥新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（緊急対応研究課題） 3,820百万円の内数【一般会計】		
施策の内容		
①		
・農地における除染技術の開発（表土削り取り、表土と下層土の入れ替え、水による土壌攪拌・除去等）		
・放射性物質の移行低減技術の開発（水稻等）		
②		
・放射性物質の移行低減技術の開発（牧草、飼料作物等）		
③		
・森林内の放射性物質に由来する影響を低減させる技術の開発		
・農業用施設、畦畔、農道等の除染技術の開発		
・除染に伴い排出される汚染雑草、落葉等の減容・安定化技術の開発		
④		
・農地の除染技術の高度化（プラウによる反転耕のすき込み精度の向上、除染作業用トラクタ・作業機の開発等）		
・移動が困難な汚染稲わら、牧草等の減容化技術の開発		
・放射性物質の移行低減技術の開発（茶、果樹等）		
⑤		
・高濃度汚染地域における農地土壌の除染技術体系の確立		
・汚染農地土壌の減容・処分技術の開発		
・除染に伴い排出される汚染雑草、落葉等の減容・安定化技術の開発		
・森林から流出する水等に含まれる放射性物質の挙動の解明		
⑥		
・傾斜牧草地における除染技術の開発		
政策の進捗状況及び今後の予定		
○地目や放射性セシウム濃度に応じた農地土壌の除染技術の適用の考え方を平成23年9月14日に公表し、その具体的な作業手順や留意事項等を取りまとめた手引きを平成24年3月2日に公表（①）。		
○農地の除染技術の高度化、農畜産物への移行低減技術の開発等を実施し、その結果を平成24年5月22日に公表（②・③・④）。		
○渓流水中の放射性セシウム濃度を測定し、融雪期における結果を平成24年6月12日に、梅雨期における結果を9月21日に公表（③・⑤）。		
○現在、高濃度汚染地域における農地土壌の除染技術体系の構築・実証、汚染農地土壌の減容化、植物残さや雑草、落葉等を安全にペレット化する技術の開発及び傾斜牧草地における除染技術の開発に取り組むとともに、渓流水中の放射性物質の観測を継続しているところ（⑤・⑥）。開発・実証を終えて現場に適用できると判断された技術については、研究成果を除染実施官庁である環境省に受け渡し、順次現場への導入を図ることとしている。		

水生生物中の放射性物質の挙動等の解明		施策番号089
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	48	農林水産省
章	第3	
節	2	
項	(6)	作成年月
目	⑤(v)	平成24年9月
平成23・24年度の予算措置の状況		
<p>【平成24年度】</p> <p>・海洋生態系の放射性物質挙動調査事業 190百万円【復興特会】</p>		
施策の内容		
<p>我が国周辺海域等において、食物連鎖等を通じた放射性物質の濃縮の過程等の挙動を明らかにするための科学的な調査を実施。</p>		
施策の進捗状況及び今後の予定		
<p>○我が国周辺海域等において、食物連鎖等を通じた放射性物質の濃縮の過程等の挙動を明らかにするための科学的な調査を実施。</p> <p>○今後、海水、海底土等の環境試料を含む様々な試料の放射性物質濃度の分析、海流等の把握、更には飼育実験等を行い、これらを総合的に解析することによって、水生生物中の放射性物質の挙動とその要因を明らかにする予定。</p>		